



農林水産大臣賞
[乾漆皿「華麗」]
山崎 夢舟(山中漆器)

美は心の芸術。器は手にとり伝わる触感のこちよさが先ず大切だ。表現された蒔絵の面白さに作者の心情が並々ではない事が見えてきて、思わず微笑みが湧いてくる。漆ならではの深みある質感の奥に、巧みに蒔絵の技が秘められている。工芸は人の和の芸術。工芸の楽しみは作品を手にとって用い、仕上がりの調子や凝らされた技による表現の趣や作者の込めた心情がとけ合うところに工芸の美の本質がある。作品名“乾漆皿「華麗」”はモチーフの「カレイ」にかけていて、作者の心情が伝わってくる。



林野庁長官賞
[酒盃「蟻地獄」]
宝舟会(山中漆器)

作品名が示しているように、アリ地獄の生体を意匠のテーマとした話題提供作品で、思わず微笑みが湧いてくる。精緻な蒔絵技法が駆使されていて、技術に精通した人ならその密度の高さの分析も面白さの要素であろう。漆芸の器鑑賞では、この作品の様な巧妙な仕掛けも表現の大事な要素であり、日本の工芸文化の特徴である。酒杯というアイテムには、本作品の様な遊び心を表現要素に取り入れる工夫が、これからの新しい時代には大いに研究すべき課題であろう。細かいことを言えば、カゲロウの憎々しい姿と蟻の困った表情が表現されていたら最高であった。



日本経済新聞社賞
[髹漆 輪花線文盛器]
荒川 文彦(山中漆器)

作者は作品名に「髹漆 輪花線文盛器」と記している。髹漆という文字には深い意味がある。髹漆は漆を塗るという意味であるが、単に塗るだけではなく深く美しい表現をするためには、漆の光沢や色調を作者の感性に則して工夫を凝らして調整し、美しい器に仕上げることが髹師ともいう。漆の世界では、塗ることを単にペインティングとかコーティングという言葉では言い表せない、深い内容を秘めた言葉なのである。作者は渋みのあるうるみ色と半艶仕上げに創造性を求めている。縁の彫りにも工夫がにじんでおり、さらに銀線の象眼をかくし味として沈めている。「髹漆」に値する素晴らしい作品である。



一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞
[枳造「器」]
中嶋 武仁(山中漆器)

この作品名には「うつわ」と記されているが、東洋にあってはこの字には深い哲学的な意味がある。単に物を入れる器ではなく、生命の根幹に関わる精神的な心情世界を込めて制作していることが表現に出ている。挽物は回転による成形技術であり、一見単純な技術であるが、実は大変奥深い内容を秘めた技術である。本作品は枳材を用い優美で、美しい立体感のある器であり、形状は文句無い美しさを表している。外胴部分に枳空目をうつつらと透かし出して趣を添えている。



全国漆業連合会会長賞
[縄胎象谷塗珈琲盆 渕華文キンマ]
西岡春雪漆工房(香川漆器)

縄胎象谷塗は紐乾漆ともいい、麻ヒモを巻いて漆で固め器胎を成形する技法で堅牢な漆器が得られる。仕上げ肌にうっすらと特有の筋状のやせ肌が浮き出るところが特色と言える。縁にやわらかい華文状の朱キンマ塗りをほどこし、引き締まった趣のある表現にまとめている。香川漆器の伝統を継承しながらも現代感覚をにじませる魅力的な作品である。



一般社団法人日本漆工協会会長賞
[アラベスク 蓋物]
株式会社能作(金沢漆器)

蒔絵螺鈿の技法によるひと味ちがった異国風味を感じさせる趣が新鮮である。作品名に「アラベスク蓋物」とあるように、どこか懐かしい響きを感じる言葉で、今やオイルマネー経済が世界を揺るがしている時代にあって、ユニークなテーマ性を感じる。アラベスク文様は基本的には幾何学文様で象眼技法に適していて、螺鈿、平文技法によくマッチする。我が国の宝である正倉院御物の中にある漆胡瓶がアラベスク文様である。その他、琵琶などの装飾にも螺鈿、象眼模様がある。朱漆の面に金蒔絵、螺鈿、平文などの加賀蒔絵装飾技法を配したこの作品は、華やかで独特な趣が表現されていて魅力ある作品となっている。

第51回「全国漆器展」個人賞（美術・工芸品部門）

賞名	出品番号	品名	出品者	産地組合名
農林水産大臣賞	1101	乾漆皿「華麗」	山崎夢舟	山中漆器連合協同組合
林野庁長官賞	1102	酒盃「蟻地獄」	宝舟会	山中漆器連合協同組合
日本経済新聞社賞	1104	髹漆 輪花線文盛器	荒川文彦	山中漆器連合協同組合
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞	1105	柘造「器」	中嶋武仁	山中漆器連合協同組合
全国漆業連合会会長賞	1501	縄胎象谷塗珈琲盆 渕華文キンマ	西岡春雪漆工房	香川県漆器工業協同組合
一般社団法人日本漆工協会会長賞	1201	アラベスク 蓋物	(株)能作	金沢漆器商工業協同組合

産地組合名	出品番号	品名	出品者	作品合計				
				独創性	表現力	技術力	選定P	小計
山中漆器連合協同組合	1101	乾漆皿「華麗」	山崎夢舟	25	25	21	50	121
山中漆器連合協同組合	1102	酒盃「蟻地獄」	宝舟会	20	14	16	40	90
山中漆器連合協同組合	1104	髹漆 輪花線文盛器	荒川文彦	14	18	16	40	88
山中漆器連合協同組合	1105	柘造「器」	中嶋武仁	16	10	16	40	82
香川県漆器工業協同組合	1501	縄胎象谷塗珈琲盆 渕華文キンマ	西岡春雪漆工房	10	12	14	40	76
金沢漆器商工業協同組合	1201	アラベスク 蓋物	(株)能作	13	13	11	30	67
越前漆器協同組合	1302	もてなし盛器セット 木曾	木村貞夫	11	13	9	30	63
青森県漆器協同組合連合会	4	組皿	イシオカ工芸	7	7	15	30	59
会津漆器協同組合	301	台付四段重 幻花天平	大竹 勉	7	13	9	30	59
木曾漆器工業協同組合	602	透漆塗天青貝入深鉢	宮川 武彦	9	11	9	30	59

美術・工芸品部門審査結果（上位 10 作品）



経済産業大臣賞
[会席膳 五彩]
畑 勝日佐(高岡漆器)

全体が隅切四角の糸巻形の膳である。内側に四角の文様を細線で彫り、その凹部を五つの色漆で塗ることにより平面に仕上げている。デザインがとても美しく、どんな宴にも合う、多くの人に好まれる逸品である。



経済産業省製造産業局長賞
[後藤 黒水玉カップ ペア]
一和堂工芸株式会社(香川漆器)

黒と朱という単純な二つの色で表現したデザインが素晴らしい。朱は香川漆器の伝統手法である後藤塗で、大きな水玉文様でペアカップとしているところが若々しく、新しい漆器として楽しめる作品となっている。



株式会社商工組合中央金庫社長賞
[木地呂盛皿]
山田 秀樹(越前漆器)

シンプルな円状の美しい木目をもった木地が十分生かされるように木地呂漆を塗り、その上に銀粉と青や赤などの色漆を加えて巾広の面状模様を浮かばせた表現が、オリジナリティのある味わい深い作品となっている。



公益財団法人日本デザイン振興会賞
[あざみ三]
株式会社森繁(香川漆器)

15種類の小引出しをもつ、インテリア空間の中にあって楽しめるチェストである。香川漆器の伝統手法5種を中心に、漆の様々な表現手法の展開が楽しめる。小さな世界をシンプルな構成材で家具化し、暮らしの空間の中でもオブジェとして抜群の存在感を放つ作品である。



一般財団法人生活用品振興センター理事長賞
[茶筒]
佐藤 史幸(川連漆器)

18世紀より秋田・角館で作られている完成度の高い樺細工技法で茶筒を作り、外面は全て溜塗手法により、漆によって塗り立てられている。一部金口部分に塗られた朱がアクセントになっている。樺と漆という2種の自然素材を使った日本工芸の粋とも言える逸品である。



日本漆器協同組合連合会理事長賞
[蠟色研出外堆朱組鉢]
後藤 常夫(鳴子漆器)

鉄鉢形状の組鉢で、外面部分は堆朱模様を研出し手法によって表現しているところがこの作品の魅力であり、品格のある上級の組鉢にしている。内面上部に錫金貝を帯状に配したのも静かなアクセントとなり、趣をもった作品になっている。

第51回「全国漆器展」個人賞 (デザイン部門)

賞名	出品番号	品名	出品者	産地組合名
経済産業大臣賞 (最終候補作品)	907	会席膳 五彩	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
経済産業省製造産業局長賞 (最終候補作品)	1502	後藤・ペア黒水玉カップ	一和堂工芸佛	香川県漆器工業協同組合
株式会社商工組合中央金庫社長賞	1306	木地呂盛皿	山田秀樹	越前漆器協同組合
公益財団法人日本デザイン振興会賞	1510	あざみ三	佛森繁	香川県漆器工業協同組合
一般財団法人生活用品振興センター理事長賞	109	茶筒	佐藤史幸	秋田県漆器工業協同組合
日本漆器協同組合連合会理事長賞	202	蠟色研出外堆朱組鉢	後藤常夫	鳴子漆器協同組合

産地組合名	品番	品名	出品者	作品合計				
				機能性	市場性	デザイン性	選定P	小計
伝統工芸高岡漆器協同組合	907	会席膳 五彩	畑 勝日佐	20	24	26	60	130
香川県漆器工業協同組合	1502	後藤・ペア黒水玉カップ	一和堂工芸佛	15	15	19	50	99
香川県漆器工業協同組合	1510	あざみ三	佛森繁	16	14	16	40	86
越前漆器協同組合	1306	木地呂盛皿	山田秀樹	16	14	16	40	86
秋田県漆器工業協同組合	109	茶筒	佐藤史幸	12	14	14	40	80
鳴子漆器協同組合	202	蠟色研出外堆朱組鉢	後藤常夫	9	11	13	30	63
秋田県漆器工業協同組合	104	ざ・卓	高橋貞一	13	9	9	30	61
会津漆器協同組合	309	本朱もてなしセット	大森茂光	11	9	9	30	59
越前漆器協同組合	1310	こだわりの酒器セット 夢心地	木村貞夫	7	9	11	30	57
秋田県漆器工業協同組合	108	二段弁当箱	佐藤史幸	9	9	9	30	57

デザイン部門審査結果 (上位10作品)